

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4 期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



学校統合案の拙速性に会派反対

無所属会派は新井議員が下記趣旨の反対討論

補正予算には中学校給食センター整備の予算があり、この部分については、異論はありませんが、統合新設小学校整備等 PFI 事業の債務負担行為の変更も盛り込まれております。統廃合については、これまでに提出された請願の数、その内容についての議論でも明らかな通り、子どもや保護者が多くの不安を抱えており、十分な理解が得られている状況とは考えられません。また、子どもや保護者以外に対しても、直近では宮崎県沖での地震の後に、南海トラフ地震臨時情報が出されたことがありましたが、今後の状況を鑑みても、統廃合に向けて、避難場所の体育館の利用方法をどうするかなど、市民に対し明確に示されている状況とは言えません。大災害から市民の命を守ることを考えた時にも、今現在の統廃合は拙速であり、この部分においても市民に不安があることは事実です。拙速に統合を進めるのではなく、市民の声を聴き、その声を計画に反映させていくことが先であるというのが我々、無所属会派の主張です。子どもたちの不安が解消されるまで、そして市民の安心・安全の体制の確立が明確になるまで、PFI 契約を延期させるためにも、本議案に反対いたします。
*この補正予算は賛成多数で可決しました。



無所属会派で函館どっくの工場視察時撮影

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和 4 年 2 月実施の市議会議員選挙で、4 期連続のトップ当選を果たしています

宮ヶ瀬ダム視察報告②

東京都と神奈川県の水道水源は大きく異なっています。東京都の水道は、その水源を大きく群馬県などの利根川水系の上流に設置したダムから引いています。神奈川県(横浜市・川崎市・相模原市)は相模川などの上流に設置した複数のダム(相互に送水できる)に水を蓄えることにより県内水源で賄っています。数値的には、神奈川県内人口の 90%への上水道供給、直下流に併設された神奈川県企業庁の愛川第一発電所による最大出力 24,000kW の水力発電の役目も担っています。



全員を 3 班に分け、施設内部を見学する

この宮ヶ瀬ダムは国営で、国土交通省関東地方整備局が管理運営しています。相模原市議会の手配で、双方の議員が現地で視察しました。ダムはコンクリートの塊ですが、躯体の内部にもご案内をしていただきました。内部には、一般見学用エレベーターで入りますが、途中には大きな放水弁を操作する管理室や、水圧による躯体のひずみを計測する装置などがありました。また、内部には見学案内用の通路以外に、人が乗る作業点検用モノレールがありましたが、それらの大半は撮影も認められておらず、秘匿性が高度に定められていました。

町田市議会議員・ネット発信NO. 1

吉田つとむ

ユーチューブ動画 900 万回再生目前！





一般質問:産業支援複合施設建設は見直し

この間、町田市は産業支援複合施設という名称で、商工会議所と民間事業者の 3 者で進めてきました。一つは、仮設の建物に入っている町田市新産業創造センターを作り変えることも目標の一つになっています。もちろん、起業や創業の支援は必要であり、私は誰よりも早くからその意義を訴えてきました。



あぶ祭:ステージは他の出演者の写真

ただし、行政機関である町田市が、商工会議所自体やその事業を金銭的に丸ごと支援することは好ましいものではありません。なぜなら、商工会議所は経済的にもっとも自立した組織であり、その伝統を誇りにしてきた組織です。特定の自治体で見ると、行政以上の力を持った商工会議所も存在しています。函館市を会派で視察した時に見た例は、その施設の再建で有力な篤志家が寄付をして今の時代にも観光施設に転用される「旧函館区公会堂」が完成された例がありました。また、武蔵小杉の川崎コンベンションホールで行われた「あぶ祭」というイベントに出演参加しましたが、この施設はタワーマンションが建設された際、そのデベロッパーが低層階の 3000 m²のスペースをスケルトン(骨格:躯体)状態で川崎市に提供し、そこをイベントや会議を行う施設に内装を施したものでした。町田市も大型開発では、その開発業者に一定の公共スペースを提供してもらう施策が必要ではないかと提唱しました。

一般質問:建設業と士業の相違

町田市が行う水防訓練や防災訓練において、公務扱いとなる市の職員や消防署員(団を含む)、警察官、自衛隊員などが出動する一方で、多数の市民がボランティアや見学で参加しています。それら以外に、様々の業界と業界の人がそれぞれ専門の立場で参加しています。例えば、医師、歯科医師、薬剤師、獣医師などが参加しており、他方で土木建設業界では重機のオペレーターやトラック運転手や作業員が参加していました。

町田市の主催行事に個別分野の業界人が参加すると、一定の費用が出ていました。上記の医師などの士業界の場合、医師、看護師、事務員がそれぞれに異なる金額の報奨金が支払われていました。一方で、土木建設業界の場合、個々人に報奨金が支払われることは 1 円もなく、重機やユニック車両の持ち込み相当額程度の謝礼が団体に支払いをされているのみでした。金額を調べてみると、その参加者総数の弁当代にも満たない低額でした。この違いを直ちに是正をすることは難しくても、現場の業務を実質無料で担う人の存在を注視することが必要だと述べました。なお、議員は招待の形式ですが一見学者に過ぎず、金銭的な費用を受けることはありません。



大型土

◎町田市議会は定数 36 名 (1 名欠員)。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が 5 名です。吉田つとむは、「無所属」という 3 名の会派に所属。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の 3 名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4 期連続トップ当選)

吉田つとむ


ブログ


個人HP


メールは
左記を読込
して送信



インターン体験記②佐々木 瑛

子どもセンターや子どもクラブというのは乳幼児から青少年までが気軽に利用することのできる施設で、町田には子どもセンターが 5 つ、子どもクラブが 7 つ設置されています。私はそのうちの「ばあん」「MO こもこ」「まあち」の 3 つを今回訪れました。

子どもセンターと子どもクラブはその規模と運営団体が異なりますが、共通した工夫が見られました。それは施設内の乳幼児スペースと児童スペースの区別です。「ばあん」では 4 年前の改修工事前、この 2 つのスペースが低い仕切りで区切られていたため児童が乳幼児スペースとわからず遊んでしまうことがあったそうです。そこで乳幼児とその保護者が安心して過ごせるようなスペースを確保することを目的として改修後は壁が設置されていました。他の 2 施設でもネットを隔てたり、床の材質を変えたりして誰もが乳幼児スペースと認識できる工夫がされていました。子どもが楽しく遊べる場所の前提として子どもの安全を十分に考慮した施設内の環境づくりがあることを実感しました。



◎吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、2024 年 8 月末までに 109 名が参加しました。

◎ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎夏季のインターンシップは引き続き第 53 期生と第 54 期生の合計 4 名が参加中です。

インターン体験記③-1 佐々木 瑛



また授業面では、小学 3 年生と 4 年生の時期に普段は中学生を教えている先生から授業を受ける機会があるそうです。小学校の先生の授業とは少し異なる視点でより専門的な科目学習を行えることは、児童生徒の興味関心の幅を広げるためにも非常に価値のあるものだと思います。

自分の小中学校時代と比較してゆくのき学園を見ることで、小中一貫校ならではの魅力を発見することができました。

自分の小中学校時代と比較してゆくのき学園を見ることで、小中一貫校ならではの魅力を発見することができました。

インターンシップで若者育成の貢献
町田市議・完全無所属・良識ある保守

吉田つとむ



インターン体験記③西條菜々美

本日はインターンシップの一環として、管理栄養学科出身で食品業界で惣菜の製造に関わる仕事をしている社会人の先輩(御子柴綾乃さん)と面談を行いました。面談では、先輩がどのような経緯で現在の職に就かれたのか、またどのようなスキルや経験が役立ったのかについてお話を伺いました。

先輩は大学で管理栄養学を専攻し、卒業後は食品業界に進むことを決意されました。最初は食品メーカーの工場での勤務を経験し、その後、現在の職に転職されました。

食品メーカーでは、管理栄養学科で学んだ知識を活かせる仕事に携わり、また、製造現場での経験を積むことで、製品の品質管理や衛生管理の重要性を学んだそうです。



昭和女子大学 3 年生 西條菜々美(第 54 期生)

現在の職に就くために役立ったスキルとしては、栄養学の専門知識はもちろんのこと、問題解決能力なども挙げられました。特に、転職には現場での実務経験が大きな強みとなり、現在の職でも活躍できるようになったとのこと。

この面談を通じて、私自身も将来のキャリアについて考える良い機会となりました。先輩の経験から学んだことを活かし、今後のインターンシップや就職活動に取り組んでいきたいです。

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が大好評です。

◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が 3 人。

インターン体験記①蛭田 咲菜

インターン初日は、初めての名刺交換から始まり、自分の名前が印字された名刺を早速議員の方にお渡ししました。何もかもが初めてだったため正式なビジネスマナーがわからず、戸惑いながらの交換となりました。名刺交換を行った後、町田市議の本会議を傍聴させていただきました。市議会のような公的な会議の場に足を運んだのはこれが初めてであり、ピリッとした独特な空気感を感じさらに緊張しました。

会議の中で特に印象的だった議題は、職員の不手際と処分について、という表題でした。職員の処分の種類は段階的に設けられており、犯した不手際の重さに応じて当事者及びその関係者に対して課されます。今回の会議では、その内容の再確認と、最近の処分事例についての報告が行われました。デリケートな議題ではありましたが円滑かつ誠実な市政運営のためには必要不可欠な事項であり、真剣に向き合う必要がある内容だと感じました。勿論、不手際が起こらないことが理想ですが万一起こってしまった場合はそれ相応の償いをし、他の議員や市民からの信頼を取り戻すことが大切であると考えました。



昭和女子大学 3 年生 蛭田 咲菜(第 54 期生)